

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都市 】

学校名【 京都市立加茂川中学校 】

1 実践テーマ	V
2 実施対象者 (学年・人数)	全校生徒 465名 保護者 20名 教育委員会・地域各種団体長・周年事業実行委員 16名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 (創立70周年 記念講演会) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	創立70周年記念事業の一環として、講演会を通じてアスリートの生き方に学ぶ。 ○アスリート（本校卒業生・オリンピック3大会連続出場）の学生時代の様子やトライアスロンとの出会いにふれる。 ○アスリートのこれまでの努力や成績・大きな怪我の克服の様子から、スポーツの本質に対する理解を深める。 ○アスリートの講演会を通じて、自分の生き方を考える機会とする。
5 取組内容	(1) 事前学習 オリンピック種目である「トライアスロン」への知識や理解を深めるため、アスリートの活躍する動画を視聴する。 ①上田藍 尽きないトライアスロンへの情熱 ②上田藍 笑顔の根底にアルもの アスリートが本校の卒業生であるため、東京オリンピックに向けた「応援」を企画する。 ①横断幕の作成 ②講演会当日に生徒全員で歌う「パプリカ」の練習



	<p>(2) 講演会 (当日) 70周年記念事業の一環として講演会の実施</p> <p>①中学生の時の様子やトライアスロンの出会いについて ②オリンピック3大会の様子やこの一年のワールドカップ等の成績・大きな怪我やその克服の様子について ③中学生へのメッセージ・東京オリンピックに向けて ④金メダルの紹介等、生徒との交流 ⑤横断幕・歌のプレゼント (全校生徒より)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(3) 事後学習 (感想)</p>
<p>6 主な成果</p>	<p>○講演会の後半では、これからの生徒の生き方に関わるようなメッセージが込められており、印象に残るものとなった。 「できないことがあっても伸びしろだと考えてほしい」 「人と比べず、自分の成長に集中することも大切」 「自分の可能性を、自分の気持ちでストップさせないで」 「みんなと一緒に夢をつかめるようにしていきたい」 ○本校の卒業生である上田藍さんの、東京オリンピック出場に向けた応援をすることで、地域や学校に一体感が生まれた。</p> <p>【生徒の感想より】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何度も挫折しても立ち直り、あきらめずがんばる姿にあこがれを持ちました。 ・上田さんの話を聞いて、自分の中にある可能性に挑戦してみようと思った。 ・どんなに苦しいことも一生懸命練習して楽しいことに変えてしまえばいいと知り、素晴らしいなと思いました
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>○創立70周年の節目に当たり、その記念事業の一環とすることで、生徒だけでなく、地域や卒業生にも発信できる取組として位置づけた。 ○創立70周年を、講演会を通じた生徒主体の取組となるよう意識した。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>今回は周年事業の一環として取り組むことができたため、学校体制で企画・運営することができた。今後は教育活動や教育課程の中でどう位置づけるかが課題と考える。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>継続していきたい。</p>